



## 第212臨時国会に絶望

この国の主権者である私たちにとって、あまりに情けなく、悔しい国会でした。

副大臣・政務官の連続辞任（実質更迭）に始まり、パーティ券裏金問題に終わる不祥事・疑惑の数々は、とてもここには書ききれないので、岸田首相の支離滅裂答弁のいくつかを振り返るだけにおきます。

首相は支持率回復を狙って突然所得税減税策を打ち出しましたが、その目的は、当初の「税収増の還元」を財務省に「還元できる余剰はない」と一蹴されると、「物価高対策」「デフレ脱却」「子育て支援の一環」と二転三転しました。しかも、あらゆる選択肢を検討して決定した施策だと言っているが、細かく突っ込まれると、最も即効性が期待できる消費税減税は「検討すらしていなかった」と白状するハメに。

防衛費の5年間で43兆円という金額について、円安で上振れしないのかと質問されると、「閣議決定した金額なので収まるようにヤリクリする」と答弁。詳細なシミュレーションに基づくはずの積算は無視していいのか、アメリカ相手に値下げ交渉する度胸があるのか、どちらにしろできるのなら増税を考える前になぜやらないのかという話です。

このように政策の矛盾・欠陥が次々と明らかにされ、しかも支持率はついに10%台と世論は「NO」を叫び続けているのに、効果のない所得減税や異次元にショボい少子化対策を盛り込んだ総合経済対策は可決されてしまう。中小企業・個人事業主の首を絞めるインボイス制度の見直しはなされず、デメリットばかりが指摘される健康保険証廃止は来秋の実施が再確認されてしまう。型落ちトマホークの購入や国産ミサイルの配備は前倒しされ、イギリス・イタリアと戦闘機を共同開発する条約は締結されてしまう。大学から学問の自由を奪い、兵器開発を含む国策研究を強要できるようにする国立大学法人法の改訂が通ってしまう……それが、自民・公明両党が圧倒的多数を占める現在の国会なのだという事実が、私たち国民に突きつけられたのでした。

(梅丘1丁目・真藤一彦)



## 2023 年秋の憲法学習会 「統一教会と政治・人権」に参加して

11月1日に、生かそう憲法! 今こそ9条を! 世田谷の会と渋谷共同法律事務所の共催で、梅丘パークホールで行われました。講師は鈴木エイトさんでした。2002年頃、統一教会（現・世界平和統一家庭連合）の勧誘を阻止する活動を単身開始し、信者の心情や被害者を生む構造に関心を抱き、本格的にカルト問題に取り組んできました。2022年7月に起こった安倍晋三元首相銃撃事件まで、私は全然知りませんでしたが、靈感商法、合同結婚式で騒がれた以降、マスコミがほとんど取り上げてこなかった間20年も、カルト問題・統一教会と政界との歪な共存関係をずっと取材して来られました。ときには危険なめに会いながらも、ジャーナリストとして一貫して活動してこられたことに敬意を評したいと思います。テレビと違って明るくお話しされ、ちょっと印象が変わりました。山上被告とは、事件前にメールでやり取りしていた事、被告がエイトさんの活動を知っていたことは驚きました。

会場から、今後他にも注意したほうがいい団体はありますか、との質問で、「参政党」と答えられました。反小麦・反コロナワクチンとのこと。世田谷区議会にも参政党の議員がいます。区議会で、LGBT 法案について否定的な発言があったと聞きました。統一教会とそこは同じなのかなと思いました。

私も含め鈴木エイトさんの話が聞きたい人がやはり多いんですね。参加者は会場いっぱい盛況でした。  
(代田4丁目・萱野幸子)

## 「岸田政権の安保政策と憲法九条の価値」

小林節さん（慶應義塾大学名誉教授 憲法学者）

### ・憲法九条の価値

憲法九条は、第二次世界大戦の反省から「日本から他国を攻めることはしない」という世界に対する誓いです。そして九条2項の「軍隊の類」と「交戦権」を自らに禁止したのです。これが、周辺国に大きな安心を生み、日本への信用となりました。これが九条の価値です。

ただし、他国が日本侵略を試みた場合は「専守防衛」は憲法上可能なのです。国家の自然権としての自衛権が国際法上認められているからです。他国が日本に対して宣戦布告した場合の自衛権行使には、国連憲章51条+日本国憲法65条、内閣の行政権内にある警察権（警察予備隊→自衛隊）と海上保安庁が存在します。ここを認めないと「護憲派」は世論の中で孤立して、「憲法『改悪』」を許してしまいかねません。自衛隊は「平和の敵」ではありません。「平和の敵」は自衛隊を悪用して他国の戦争に参加しようとする「愚かな政治」です。

### ・岸田政権の安保政策

安倍政権が断行した「解釈『壊憲』」の「存立危機事態」と「重要影響事態」に「海外派兵」(?)ができることにしたことは、憲法「改正」(改悪)なしにはできません。野党共闘して政権交代すれば直ぐ覆すことができます。

岸田政権は安保三文書の改定で安全保障環境の悪化により敵基地攻撃能力を保有することで軍事費倍増を決め「自衛隊の米軍の二軍化」の完成を目指します。また、安倍元首相の遺志を継いで、九条に自衛隊をねじ込み海外派兵の合憲化を進めようとしています。

### ・憲法改悪は必ず阻止できる

平然と「嘘」をついている知性と倫理感に欠ける自民党改憲派は安倍元首相という唯一のエンジンを失い、論争に耐えるエネルギーもないので、護憲派が論争を避けない限り、論破して、世論の中間派(多数派)を啓発できるはずで

\*\*\*\*\*

お話はあちらこちらに飛びましたが、内容はほぼレジュメ通りでしたのでレジュメに沿ってまとめました。このほかに国際法という法典はない、国際人道法は慣習と条約から成り立っている、国連憲章など国際的な法律や自民党の改憲案の緊急事態条項はいらない、現法律で間に合うと述べられました。

そして重ねて話されたのは、憲法を生かそう、使いこなそうという呼びかけ。野党は選挙に負け慣れしてはいけな、共闘して政権奪還をしなければならぬ。最高裁への政治介入や、福祉の切り捨てなど数々の違憲政治に怒りをもっと示そう、歯がゆいという思いでした。

(代田5丁目・日暮 恵子)



### 日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++